

いっしょに室蘭を
冒険旅行しよう！
メジャーからマイナーまで
おまかせあれ！



おしえて・くじらん！

Team くじらん

代表者 高橋

応募者 香川・笹川・神・三木・中村(理)



アイデアの基となった地域課題

- 情報へのアクセスのしにくさ...お店、観光スポット、交通手段etc.
- 案内役となる機関や人員が不足している。
- 各スポットが地理的にも、観光に対する姿勢としてもバラバラ。
- 情報を有機的に結び付けるプラットフォームが不足している。
- 景勝地は多いが、「行って終わり」になりがちで、「その先」につながりにくい。(お土産、食事、交通、宿泊etc.)
- 「地元の人のおススメ」が表に出て来づらい。
- 雨天時、霧のときの情報が必要。
- 坂が多く歩くのが大変。
- 歴史など、ストーリー性を持たせた発信が薄く、いいものがたくさんあるのにもったいない。

課題の解決策・アイデアの概要

- 「点と点」をきちんと「線」でつないでいく。
 - 目的地を「ラスボス」、近郊(ニッチ)を「中ボス」と定義づけ、冒険感覚で小旅行をするシナリオを組み立てる。※ボスにたどり着くことで情報が徐々に出てくる。
くじらんが冒険のナビゲーター、ストーリーテラーを担う。
- 「線」となる交通機関のタイムリーな案内
 - 現在地と目的地のバス停を(できればARも含めて)案内。
- 行程の開始時刻・終了時刻に合わせたコンテンツ紹介。
 - 時間帯によって見どころ、営業時間も変わる。
- ボスをクリアする(=写真やレビューを投稿する)と、近いエリアの「地元特化」コンテンツや自撮り用の顔ハメパネルが出現。SNS連携も射程。
 - ※投稿がなければ、近いエリアの代表的なコンテンツを表示。
 - ゲーム性を取り入れることで、旅行の「主人公」感を高める。
- 投稿した写真は、月1回程度のフォトコンテスト(ユーザー投票)で人気の高いものを、翌月のアプリ内のコンテンツ写真に採用する。
 - さらに室蘭に対して愛着が生まれることを期待する。

利用データ・想定利用者

- 利用データ

- 観光地データ
- 飲食、お土産店の写真
（特に地元特化のもの）
- バス時刻表・路線図
- GPS
- Wi-Fiスポット

- 想定利用者

2～3時間の市内観光を
希望する観光客（登別・洞爺
宿泊客）、ビジネス客。

アイデアによる効果

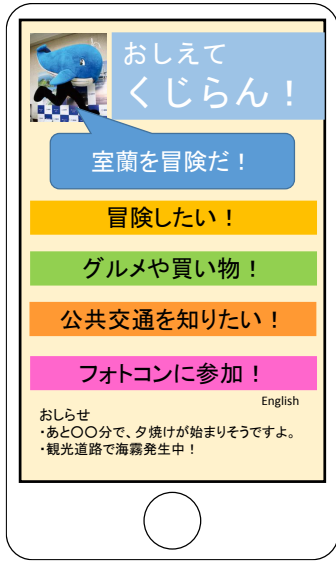
- 「目的地」「移動」「その後」の一連の流れをオーガナイズできる。
 - 「ガイド冊子」だけではない「冒険」の「主人公」感で楽しめる。
また、情報の有機的な結び付きが生まれ、複数の検索媒体を切り替えるわずらわしさが解消される。
- 時間、目的など「かゆいところに手が届く」観光ルート紹介
 - 多様化するニーズに細かく対応し、ファンやリピーターを増やす。
- おみやげ、飲食など各スポットと連携
 - 地域に経済効果をもたらす。
- ニッチなスポットにも対応
 - 「知る人ぞ知る」体験をすることで、より室蘭を身近に感じてもらう。

実装されると、なお機能的な情報

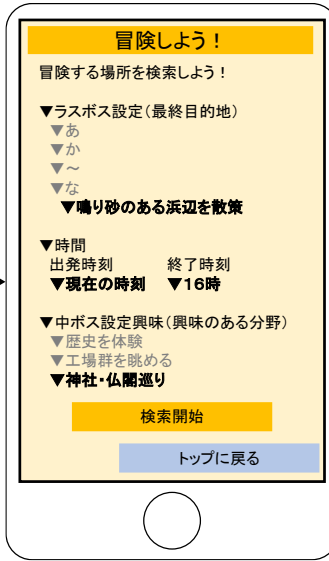
- 顔ハメフレーム
- 地域説明用AR(リアルタイムな画面)
- 悪天候時でも好天時の様子を確認できるVR(仮想)
- 魚介の「旬」→室蘭は全道一、水揚魚種が豊富！！

アプリケーションのイメージ

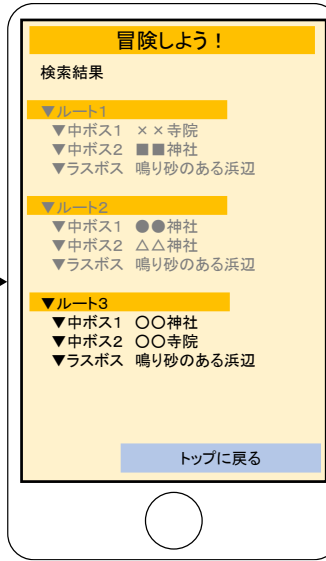
TOP



冒険ページ
(条件設定)



冒険ページ
(候補ルート表示)

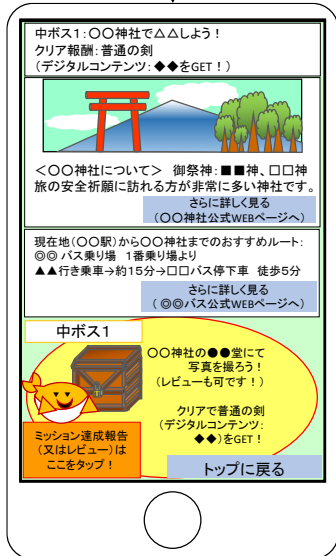


冒険ページ
(選択ルート概要)



詳細1参照

冒険ページ
(ボス説明)



詳細2参照

冒険ページ
(投稿)



詳細3参照

冒険ページ
(ボスクリア/
特典提供)



詳細4参照

冒険ページ
(ルートクリア)



詳細5参照